

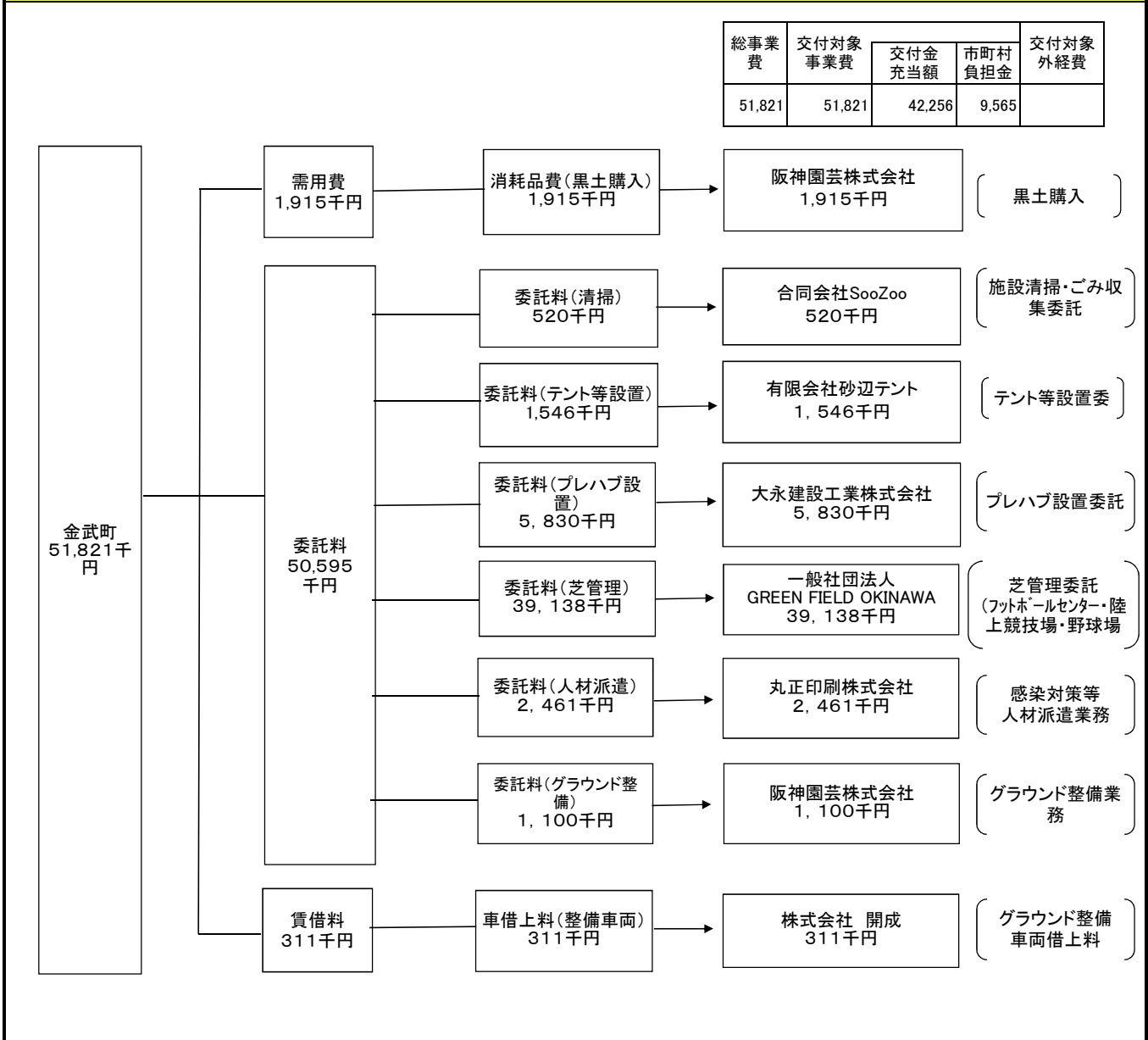
市町村名		金武町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	プロスポーツ受入事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成28年~令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域活性化
事業内容	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期的な受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	43,305	51,793	47,174	47,393	53,316
	(b)予算現額	43,208	51,793	46,126	51,928	53,316	
	(c)増減額(b-a)	▲97	0	▲1,048	4,535	0	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	43,208	51,793	46,126	51,928	53,316	
	B.執行済額	42,611	43,014	46,126	51,928	52,821	
	うち交付金充当額	34,088	34,410	36,900	41,465	42,256	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.6%	83.0%	100.0%	100.0%	99.1%	
予算の状況の説明	不用額495千円については、見積額と契約額の差額によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備)	目標	(芝管理、グラウンド整備)	(芝管理、グラウンド整備)	(芝管理、グラウンド整備)	(芝管理、グラウンド整備)	
		実績	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	
	プロスポーツ受入の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	見学者受入体制の整備(清掃、感染対策)	目標	(清掃、警備の実施)	(清掃の実施)	(清掃、感染対策の実施)	(清掃、感染対策の実施)	
		実績	清掃、警備の実施	清掃の実施	清掃、感染対策の実施	清掃、感染対策の実施	
	プロスポーツ受入体制構築(テント設置、プレハブ設置)	目標	(テント設置、プレハブ設置)	(テント設置、プレハブ設置)	(テント設置、プレハブ設置)	(テント設置、プレハブ設置)	
		実績	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	
スポーツ教室の開催	目標	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)		
	実績	4回	0回	0回	2回		
達成状況説明	プロチームを受入れるために必要な芝管理や黒土の補充によるグラウンド整備等の競技環境の整備、会場の清掃、テント等の設置などの受入体制の強化を図った。また、不足する諸室を補うためのプレハブを設置した。令和4年度は、コロナ禍以前同様の受け入れとなった。スポーツ教室については、コロナウイルスの影響によりこれまで実施できなかったが、感染対策を実施しながら目標の2回を達成できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	R4年度プロチームキャンプの受入4チーム以上	目標	()	(5チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()
		実績	/	4チーム	4チーム	5チーム	/
	【参考指標】R3年度プロチームキャンプの受入4チーム以上	目標	()	(5チーム)	(4チーム)	(4チーム)	()
		実績	/	4チーム	4チーム	5チーム	/
進捗状況説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した3チームを受入れることができた。競技環境の良好さもあり、サッカーでさらに1チーム、韓国プロ野球チームを1チーム受け入れることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・令和4年度においては、キャンプスケジュールのイレギュラー(当初想定していたよりもキャンプ期間が短いチームがあった)により、5チームを受け入れることができたが、受入チームの定着化に伴い、キャンプ実施期間も延びてきていることから、定着する4チームの受入態勢を整えることが適当であると考えられる。</p> <p>・令和4年度については、コロナウイルスの感染状況も落ち着き、年間を通して環境整備を図ることで、継続的なキャンプの実施や、長期間の実施が見られるなど、事業の効果が得られていると考える。</p> <p>・近年、受入チームの徐々に定着し、期間についても延長されている状況である。プロ野球については、令和4年度から正式に1次キャンプからの実施となったほか、屋内運動場も供用開始となり、必要な準備等も増える可能性がある。</p>	<p>引き続きキャンプを受け入れることができるよう、必要な芝管理やグラウンド整備等の競技環境の整備、会場の清掃、不足する諸室を補うためのプレハブやテント等の設置などの最善の準備に努めなければならない。また、定着化が進む中、キャンプ中・キャンプ後の町民交流や観光交流等の促進についても検討を要する。</p>

今後の取り組み方針

これまで実施してきたグラウンド整備や良好な環境づくり、必要な準備を整えながら継続したキャンプを実施できるよう取り組む。受入チームの定着化に伴い、期間が延長されることや屋内運動場の利活用も視野に入れ、長期間のキャンプとなった場合にも対応できるよう、受入協力を組織するなど球団と密に連携を図る。また、キャンプ中・キャンプ後においてもキャンプを通じた交流ができるよう、特産品・観光交流や人材交流の実施に向けて、球団や関係自治体と連携した取り組みを図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受入球団が独自で契約している業者と契約することで、業務効率や経費低減が図れるため、地方自治法施行令第167条の2第1項2号に基づき随意契約を行っており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○概ね予定していた通りに事業を執行できており、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

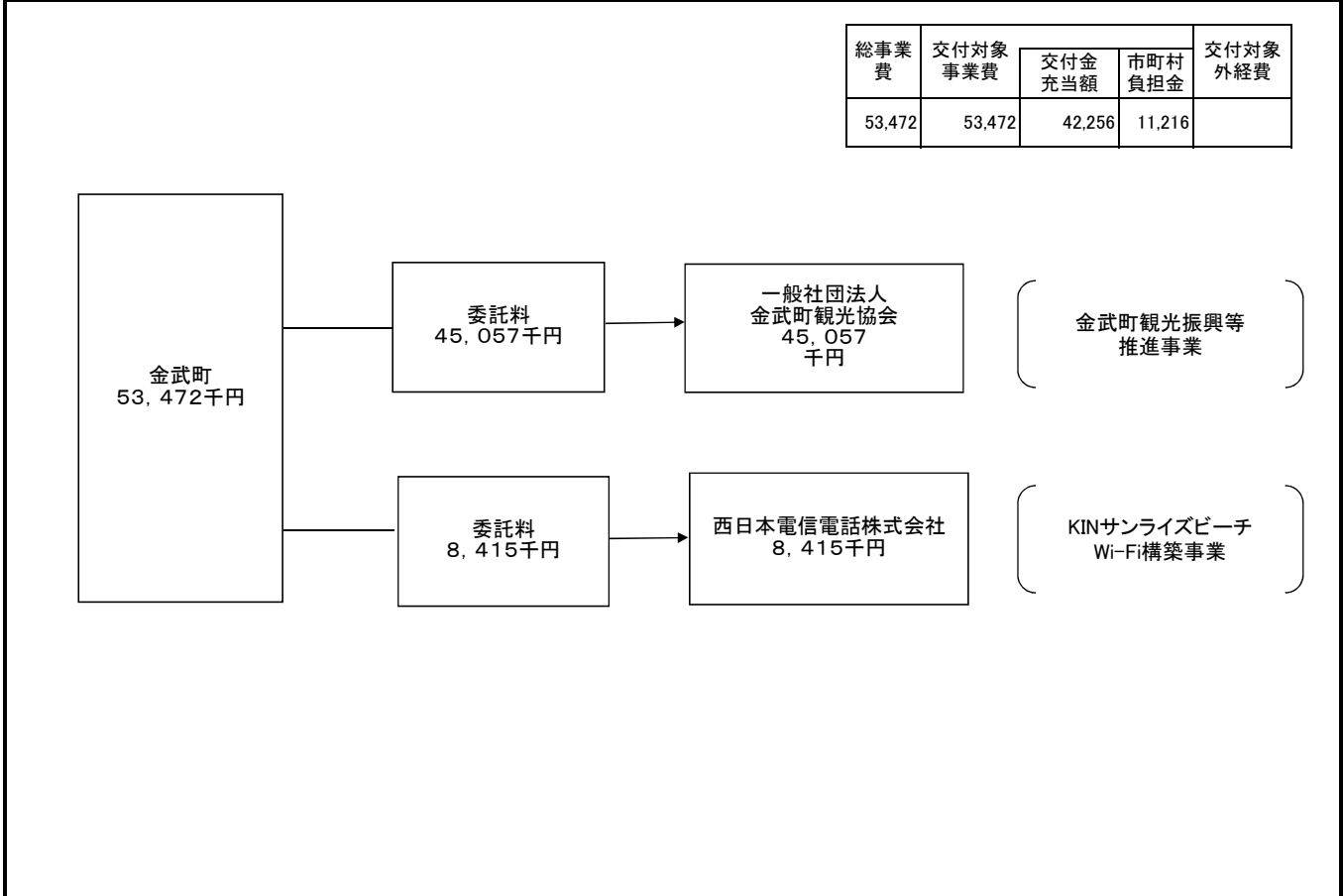
市町村名		金武町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	金武町観光振興等推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和元年～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本町の魅力ある観光資源を活用して、情報発信、誘客拡大、町内周遊、エコツーリズム観光を推進し、観光振興による地域産業の活性化に資する。また、新たに整備されるKINサンライズビーチに観光Wi-Fiを整備することで、観光客等の利便性向上を図るとともに町の観光情報等を効果的に発信する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	46,622	53,465	69,971	49,995	
		(b) 予算現額	36,317	59,688	59,851	53,471	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 10,305	6,223	▲ 10,120	3,477	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)		36,317	59,688	59,851	53,471	
	B. 執行済額		37,439	59,688	59,851	53,472	
	うち交付金充当額		26,708	47,750	47,880	42,256	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		103.1%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		台風の影響により地域活性化イベントの未開催があった。KINサンライズビーチへの観光Wi-Fiの整備については、観光シーズンに利用できるよう、年度内で完了することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	観光物産PR業務	目標	(3,364人)	(1,972人)	(1,972人)	(1,972人)	
		実績	2,893人	1,509人	194人	2,000人	
	情報発信業務	目標	()	()	(9件)	(9件)	
		実績			9件	21件	
	地域活性化イベント業務	目標	(6,547人)	(1,586人)	(34組68人)	(1件)	
		実績	7,804人	499人	188人	台風の影響で中止	
	観光PRツール制作業務	目標	(2ツール)	(5ツール)	(3ツール)	(3ツール)	
		実績	2ツール	5ツール	3ツール	3ツール	
観光Wi-Fi整備業務	目標	()	()	()	(整備完了)		
	実績				整備完了		
達成状況説明		観光物産PR業務については、特産品の販売の他スイーツにも注力したことから、多くの来場があった。情報発信業務、観光PRツール制作業務についてはコロナ禍において効果的に情報発信、ツールを制作し本町のPRを図った。観光Wi-Fiを整備することで、観光客等の利便性向上を図った。地域活性化イベントについては、台風の影響で前日に中止となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	媒体等による情報発信	目標	()	()	(9件)	(9件)	()
		実績			9件	21件	
	観光物産PRブース来場者数	目標	()	(1,972人)	(1,972人)	(1,972人)	()
		実績		1,509人	194人	2,000人	
	観光WiFiの整備	目標	()	()	()	(整備完了)	()
		実績				整備完了	
【R3成果目標(後年度)】サインにより利便性が確保されたか(80%以上)を含め、来場者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	()	(80.0%)	()
実績					82.0%		
進捗状況説明		本町の観光に関する情報を効果的に目標を上回る発信を行い本町への誘客を図った。特産品の販売の他スイーツにも注力したことにより、来場者数の目標を達成することができた。KINサンライズビーチに観光Wi-Fiを整備することで、観光客等の利便性向上を図ることができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せ、徐々にコロナ前の観光に戻りつつある。また、町では新たに温泉宿泊施設やKINサンライズビーチが開業したところにより、新たな観光需要の取り込みや町内周遊の取り組みが必要となる。 ・観光物産PRブースについては今回初めてスイーツにも注力したことから、平日にも関わらず多くの来場者があった。 ・今後、温泉宿泊施設とKINサンライズビーチが本格稼働していく中で、本町の豊かな自然環境を活かしたアクティビティや充実した体育施設、医療施設、温泉施設等が一体となり、町内を周遊することで、滞在時間を延ばすことなどについて、関連団体と取り組む。 	温泉宿泊施設やKINサンライズビーチの周知を図るための情報発信やイベント等を実施し、「知ってもらおう」「来てもらおう」の取り組みを行う必要がある。

今後の取り組み方針

ビーチ等での誘客イベントを強化するとともに、本町の豊かな自然環境を活かしたアクティビティや充実した体育施設、医療施設、温泉施設等が一体となった観光メニュー等について、関連団体と取り組むことで新たな観光需要の取り込みや町内周遊に繋げる。また、町の観光資源を知ってもらうための効果的な情報発信に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○当該業務は町の事業に携わり町内観光事情等に精通している必要があることから地方自治法施行令第167条の2第1項2号に基づき随意契約を行っており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルスの影響で実施できなかった事業もあるが、通常であれば実施するものであり、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

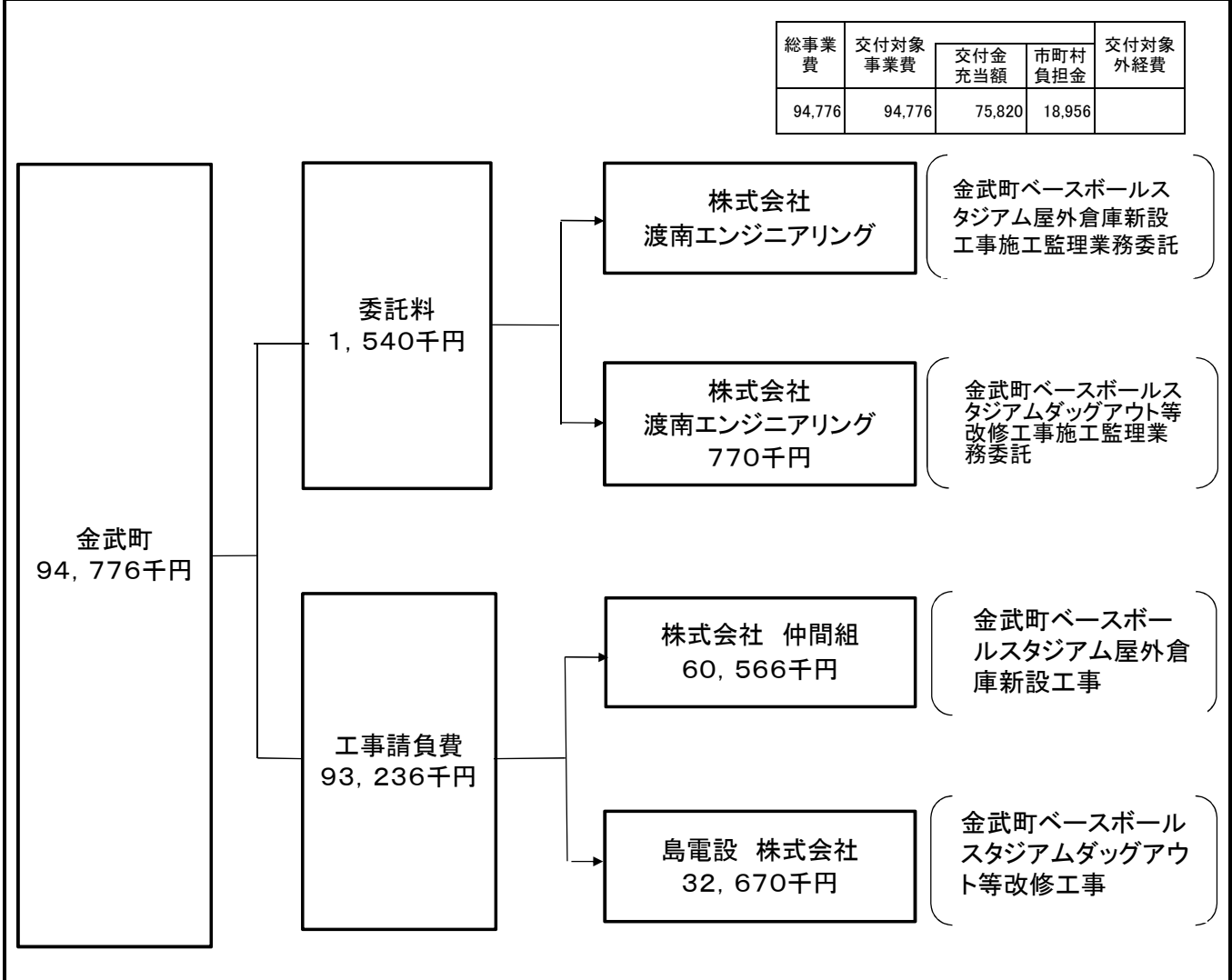
市町村名	金武町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア			
担当部署名	社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和3～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と 地域の活性化		
事業内容	金武町ベースボールスタジアムにおいて、プロチームのキャンプや県内外の大学、高校の合宿、県内各種大会及び国際交流試合等と多岐にわたる開催現実に向け、スタジアムの機能高度化に係る工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	42,467	106,002			
		(b)予算現額	41,074	94,776			
		(c)増減額(b-a)	▲1,393	▲11,226			
		(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)		41,074	94,776			
	B. 執行済額		41,074	94,776			
	うち交付金充当額		32,859	75,820			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		不用額11,226千円については、入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ダッグアウト、音響設備、2階トイレ改修工事の完了	目標	()	(工事の完了)	()	()	
		実績		工事の完了			
	屋外倉庫新設工事の完了	目標	()	(工事の完了)	()	()	
		実績		工事の完了			
達成状況説明	令和3年度に行った実施設計をもとに工期内に工事を完了することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (8年度)
	ダッグアウト、音響設備、2階トイレ改修工事の完了	目標	()	()	(工事の完了)	()	()
		実績			工事の完了		
	屋外倉庫新設工事の完了	目標	()	()	(工事の完了)	()	()
		実績			工事の完了		
	【R8成果目標(後年度)】 6団体	目標	()	()	()	()	(6団体)
実績							
進捗状況説明	令和3年度に行った実施設計をもとに工期内に工事を完了することができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・期間内に工事が完了したため、課題はないと考える。 ・ダッグアウトの拡張、メインスタンド音響改修、メインスタンド2階多目的トイレオストメイト設置、屋外倉庫新設工事を行い、利用者に対しより機能の高いスタジアムの形成を目指すとともに、安全な観戦環境を整え同スタジアムの利便性向上を図り、スポーツ交流で観光振興の促進へも繋げていく。 	<p>実施設計を行い、機能高度化に係る金額及び計画が立てられたため、改善の必要はないと考える。</p>

今後の取り組み方針

・本工事を行ったことにより、これまで受け入れているプロ野球キャンプや合宿及び県内各種野球大会等を継続して受け入れるとともに、新たな大会等の利用にも繋げていく。
 また、今後も利用者及び観戦者に対し、利用しやすい環境を整え、施設の利便性向上を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者については、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○適切な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については、清算段階で検査しており、適当である。

市町村名		金武町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	金武町就職活動支援補助事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の確保と多様な人材の活躍促進 Ⅲ-2		
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	30,000	34,335	30,792	28,764	28,764
	(b) 予算現額	24,800	25,725	24,469	22,079	24,211	
	(c) 増減額(b-a)	▲5,200	▲8,610	▲6,323	▲6,685	▲4,553	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	24,800	25,725	24,469	22,079	24,211	
	B. 執行済額	22,053	25,205	23,213	22,079	22,939	
	うち交付金充当額	17,642	20163	18,570	17,663	17,876	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.9%	98.0%	94.9%	100.0%	94.7%	
予算の状況の説明	2か月間相談員の欠員のための人件費の減額及び新型コロナウイルスの影響により、実施出来なかった講座があったため4,553千円減額。不用額1,272千円については、主にシステム維持管理費に係る委託費の減額及び需用費の減額によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	各種講座開催	目標	(11回)	(11回)	(11回)	(8回)	
		実績	11回	8回	8回	9回	
	キャリア教育8回(小学校3回・中学校5回)	目標	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)	
		実績	小3回・中5回	小3回・中5回	小3回・中3回	小3回・中5回	
目標	()	()	()	()			
実績							
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座については、町内求職者及び各種事業所のニーズを確認しながら実施したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、1つの講座が実施出来なかった。 キャリア教育については、町内の全小学校・中学校に対して実施し、目標としていた実施回数を達成できた。 合同企業説明会については、沖縄県の感染者が少ないこともあり、感染症対策を講じながら実施できた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	就業率	目標	()	(10.80%)	(10.14%)	(10.00%)	()
		実績		9.5%	5.2%	3.4%	
	資格取得率	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		81%	97%	86%	
キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
	実績		99%	99%	95%		
進捗状況説明	就業率については、就職希望者と企業側の望む人材が合わず実績が3.4%と低い数値となった。 資格取得率については、実績が86%と達成できた。 キャリア教育のアンケートによる興味・関心も95%の実績を得ることができ達成できた。						

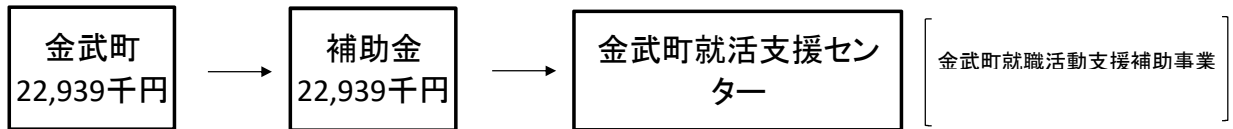
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(就業率) ・就職相談や求人情報収集で当センターへ来所する方は多数いたが、希望する職種や条件が合わないのか紹介状発行を求めている方が少なく、就業率が目標に届かなかった。	(就業率) 企業と求職者のマッチングがうまくいように面接相談等を引き続き実施し、町内雇用の拡大に努める。
	(資格取得率) ・資格取得率については、受講生のアンケートから講師が丁寧に教えて頂き分かりやすかった回答があり、受験生の頑張り、講師陣が受講生の授業内容の理解度をみながら、分かりやすく教えていることから合格率が高くなっている。	(資格取得率) 実用性及び就職と結びつきが高い講座、並びにアンケートの中で取得したい資格としてニーズがある講座を開催する必要がある。合格率が低い講座については、間違えた箇所のおさらいをするなどフォローアップ講座も検討する。
	(キャリア教育) ・キャリア教育については、各学校等と連携した結果、達成率95%であり、児童生徒が働くことへの関心が高まったと考えられる。	(キャリア教育) キャリア教育については、児童生徒が働くことへ興味・関心がわくよう、町内事業者や卒業生、多様な職種の方の話しを聞くことが大事であると考えられる。

今後の取り組み方針

新型コロナウイルスの感染症の動向や感染対策を考慮しながら、企画した講座は遂行する。就職相談や求人情報収集が増えているが、紹介状の発行が少ないので、丁寧に希望職種、条件を聞き取りしながら、紹介状発行までつなげる。また、就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、雇用機会の増大を図る。並びに町内の事業所の従業員のスキルアップのための講座も開催する。キャリア教育については、引き続き学校及び各種団体等と連携し、先進的・効果的な取り組みをすることで児童生徒が働くことへの興味・関心を促すことに繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
22,939	22,345	17,876	4,469	594



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金等交付規則に基づき適正に選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○相談員の中途採用や新型コロナウイルスの影響により、実施出来なかった講座もあったため不利益が発生したが、予算規模は適正と判断している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	小中学校学習等支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ウ	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	町内の小中学校へ外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	38,053	36,050	34,757	38,802	26,491
	(b)予算現額	31,108	36,050	32,057	23,218	23,597	
	(c)増減額(b-a)	▲6,945	0	▲2,700	▲15,584	▲2,894	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	31,108	36,050	32,057	23,218	23,597	
	B.執行済額	31,108	31,151	30,991	22,786	23,232	
	うち交付金充当額	24,886	24,920	24,792	18,228	18,586	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	86.4%	96.7%	98.1%	98.5%	
予算の状況の説明	・概ね当初の計画どおりに事業が執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	日本人英語指導員配置数	目標	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)	
		実績	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人	
	外国人英語指導助手配置数	目標	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	
		実績	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	
	英語コーディネーター	目標	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	
実績		教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人		
達成状況説明	・それぞれの学校に予定通りに配置できた。 ・第1月曜日にミーティングを開催し、授業の様子やそれぞれの学校における課題や解決法を共有した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上	目標	()	平均正答率84.5%(全国)	正答率の差-4%以内(82.5%)	正答率の差-4%以内(82.6%)	()
		実績		平均正答率84.5%(全国)	正答率の差-1.2%(81.3%)	正答率の差-2.6%(79.9%)	
	②中学校 英語検定3級において、校内受検者数の合格率31.6%以上	目標	()	(合格率31.6%以上)	(合格率31.6%以上)	(合格率31.6%以上)	()
		実績		31.0%	47.4%	39.8%	
進捗状況説明	【小学校】R4は、Silver(小学校中学年向け)の受検者数前年度に続き減ってはいるものの、Bronzed(小学校低学年向け)の受検者数が増えている。Gold(小学校高学年向け)においても、前年度程度の受検者数があり、日頃の英語活動で少しずつ英語を理解するとともに、英検Jrに受験する児童も増加していることから、英語に対する意識が高まったと考える。 【中学校】英語検定全体(5級～1級まで)の受検者数はR3に比べ増加しているが、各級全体の合格率がR3に比べ7.9%(R3合格率47.4、R4合格率39.8)も減率している。受検する生徒が増加していることも減率の原因と考えるが、3級に限ると合格率は79.1%と増率しており一定の成果が得られていると考える。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	【小学校】児童へのアンケート調査の結果によると、授業において英語でのゲームなどを実施することにより友達と楽しみながら英語活動を行っていること、また、ゲームを行う際に既習の単語やセンテンスを活用するほか、新しい単語を習得するためのクイズなど工夫を凝らした授業を実施することにより、児童の英語に対する興味が高まっている。	【小学校】児童へのアンケート調査の結果によると、授業における工夫により英語への興味が高まっていることが伺える一方、授業で英語で話しかける、授業以外で先生や友達に話しかけるなど、より実践的な英語活動においては、割合が小さくなっていることから教諭、支援員のより一層の工夫が求められると考える。
	【中学校】中学校においては、小学校から取り組んでいる英語活動が下支えとなり授業で英語を話すことに積極的になっていることがアンケートの結果から伺える。また、その判断材料として令和4年度の英検全体の受検者(5級～2級)が令和3年度に比べ増加(R3.306人→R4.402人)しており、英語(英会話)に対する関心が高まったと考える。	【中学校】小学校から継続して英語活動を行っていることが英語の授業に良い影響を与えている一方、英検全体(5級～準1級)の合格率に関しては、30%～45%前後(R2.31.0%、R3.47.7%、R4.39.8%)となっているのが現状であるため、文法などの基礎的な学習の工夫が必要と考える。
今後の取り組み方針		
<p>学校現場で児童・生徒に相對している英語教育指導員が現状や課題を報告・意見交換することで各学校の児童・生徒の英語への取組状況を共有し、今後の英語教育についての方針を決定していく。また、海外移住者子弟等研修生などの来町に合わせて交流事業などを積極的に実施し、英語及び外国語、異文化に興味を持たせる取り組みが重要となるため、本町が実施している国際交流関係事業にも学校単位で積極的に参加していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)							
			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
			23,232	23,232	18,586	4,646	0
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目		評価に関する説明			
	—	支出先の選定方法は妥当か。		○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。			
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。					
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

市町村名	金武町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	幼稚園預かり保育事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実	
事業内容	保護者の育児における負担の軽減を図るため、預かり保育を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		3,140	3,140	5,213	5,213	5,213
			3,157	3,140	5,213	5,213	3,245
			17	0	0	0	▲ 1,968
			0	0	0	0	0
		3,157	3,140	5,213	5,213	3,245	
	B. 執行済額 うち交付金充当額		3,147	2,517	3,493	3,845	3,391
			2,517	2,014	2,794	3,075	2,712
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.7%	80.2%	67.0%	73.8%	104.5%
	予算の状況の説明	概ね当初の計画どおりに事業が執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	預かり保育の実施	目標	(事業実施)	(事業実施)	(事業実施)	(事業実施)	
		実績	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	
	支援員の配置	目標	()	(4人)	(4人)	(2人)	
実績			4人	4人	2人		
達成状況説明	支援員の確保については、予定どおり2人を確保できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		100%	100%	100%	
		目標	()				()
		実績					
進捗状況説明	○保護者の育児負担軽減の満足度が100%となっている要因としては、利用している幼児の家庭が共働き家庭(預かる際の条件)であるため、育児に対する負担が軽減されていると考える。また、幼稚園終了後においても園児同士の交流ができることから、交友関係でも保護者の安心感が満たされたと考ええる。						

市町村名		金武町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	特別支援教育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ		
担当部署名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	時代の変化に対応する 魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	町内各小中学校において支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	38,053	36,050	34,757	38,802	37,198
		(b) 予算現額	31,108	36,050	32,057	32,510	33,486
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,945	0	▲ 2,700	▲ 6,292	▲ 3,712
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)		31,108	36,050	32,057	32,510	33,486
	B. 執行済額		31,108	31,151	30,991	32,719	31,925
	うち交付金充当額		24,886	24,920	24,792	26,175	25,540
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	86.4%	96.7%	100.6%	95.3%
予算の状況の説明		概ね当初の計画どおりに事業が執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	特別教育支援員配置数 14名 (内訳) ○小学校11名 ○中学校2名 ○幼稚園1名		目標 (幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校2人)	
	実績		幼稚園1人 小学校11人 中学校4人	幼稚園1人 小学校11人 中学校4人	小学校12人 中学校4人	幼稚園1人 小学校11人 中学校2人	
達成状況説明		・幼稚園に1人、小学校に医療的ケアの必要な児童がいたため11人、中学校に2人、計14人の支援員を配置した。 ・中学校においては、支援員の配置が足りておらず、校長、支援員、教諭と協議し運営にあたった。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	進捗状況説明		実績	85%	87%	88%	
進捗状況説明		中学校において当初の配置人数を確保することが出来なかったが、生徒の支援に支障が無いよう学校運営に努めた。保護者へのアンケートでは、88%が学校生活や学習上の困難が改善されたと回答があり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○支援が必要な児童・生徒に対しての取り組みについては、ほとんどの保護者が理解を示していた。</p> <p>○中学校においては、必要とする支援員の配置が出来なかったが、学校現場と密に協議し学校運営に支障をきたすことなく運営できた。</p>	<p>○支援員の不足については、現場の教諭に負担がかかっており、引き続き年度当初からの確保に努めていく。</p>

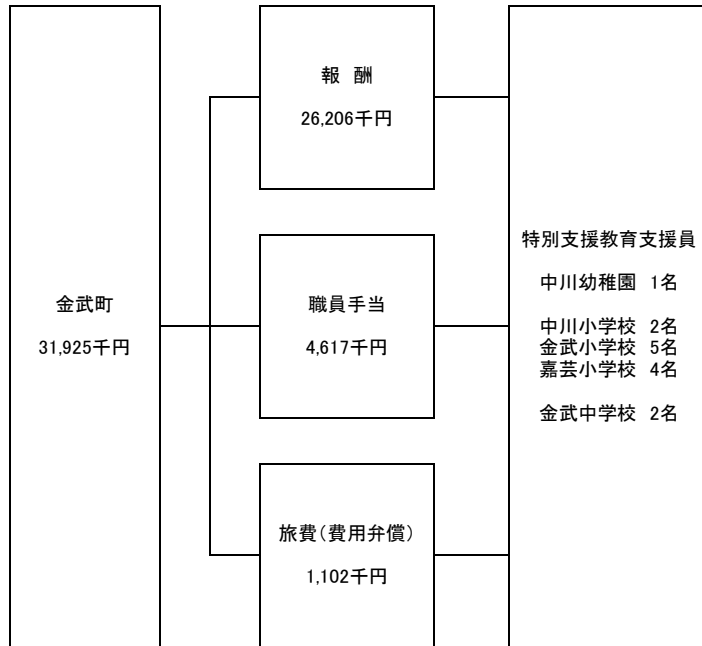
今後の取り組み方針

○支援の内容については、有識者などを招いて研修を開催するなど引き続き資質の向上に取り組んでいく。

○支援員の確保については、近隣の市町村教育委員会と情報を共有しつつ、ハローワーク等も積極的に活用しながら必要な人数が確保できるよう取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
31,925	31,925	25,540	6,385	0

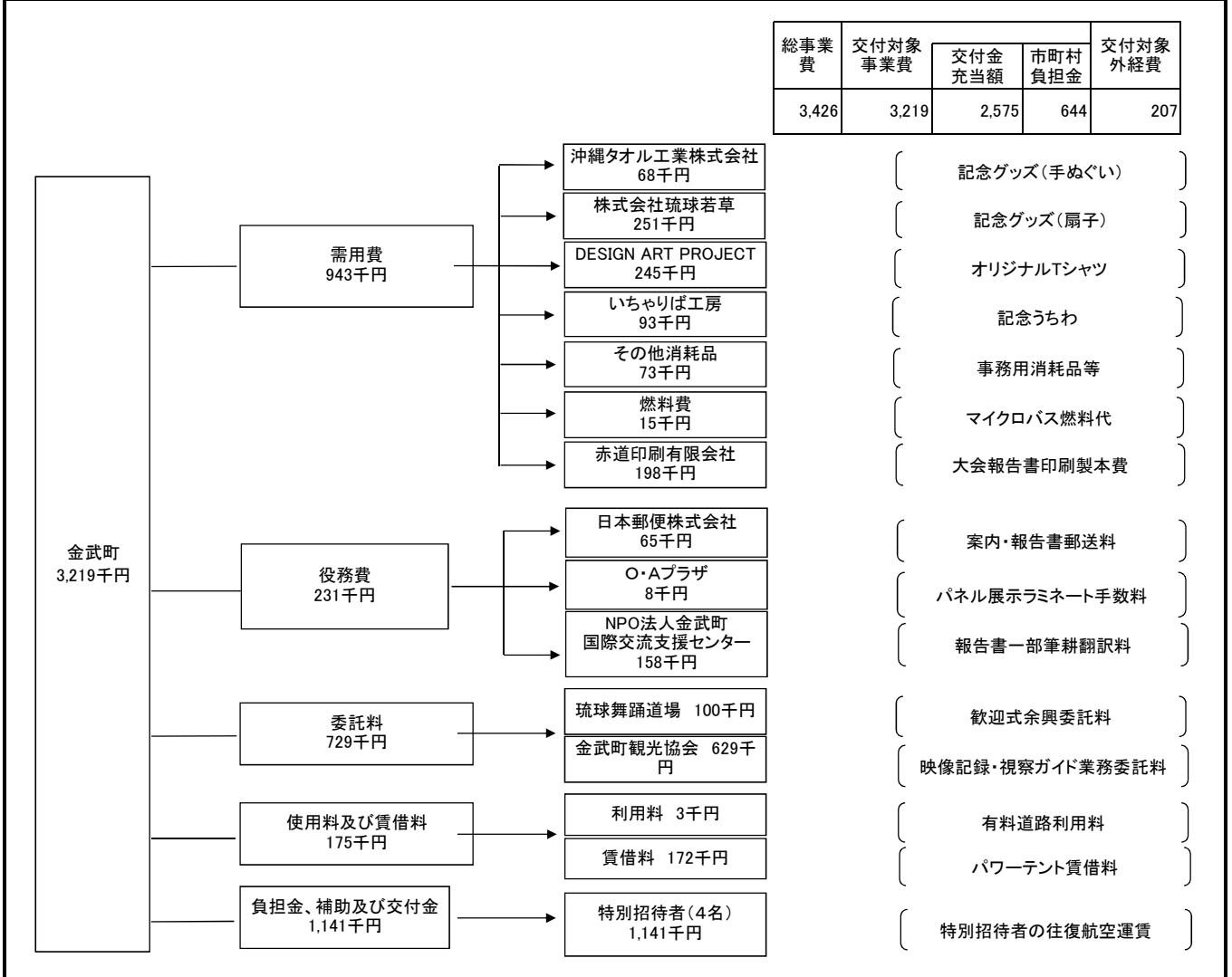


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	-	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	シマヌチュ国際交流事業(第7回世界のシマヌチュ大会)		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア		
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成28～令和9年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展 Ⅲ-7		
事業内容	世界のシマヌチュ大会を開催し、大会を通して町出身の海外在住者と交流を深める。沖縄県の「世界のウチナーンチュ大会」と同年の開催としており、前回は平成28年に開催している。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,274	7,435			
		(b) 予算現額	3,475	3,387			
		(c) 増減額(b-a)	▲1,799	▲4,048			
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		3,475	3,387			
	B. 執行済額		3,399	3,219			
	うち交付金充当額		2,719	2,575			
	次年度繰越額			0			
	執行率(%) (B/A)		97.8%	95.0%			
予算の状況の説明		当初、海外移住地である6地域から各2名ずつの特別招待者を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で来沖を辞退、また、予定していた人数の減に伴い、各プログラム及び賃借にかかる費用が減になったことから、当初予算よりも大幅な減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	本町と海外在住者との交流を深めるため第7回世界のシマヌチュ大会を開催する。	目標	(1 回)	(1 回)	()	()	
		実績	1 回	1 回			
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初の予定通り、本町と海外在住者との交流を深めるための「第7回世界のシマヌチュ大会」を開催することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	シマヌチュ大会に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動出来ているか(80%以上)を金武町人会にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)		()
		実績		100%	72%		
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	シマヌチュ大会期間中において、各国からの海外参加者に実施したアンケートで「これまで町人会活動に積極的に参加していたか」という問に対しては、目標の80%を達成することができなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	成果目標の80%に届かなかった原因として、直近3年間で新型コロナウイルス感染症の影響で、町人会活動が実施できていなかったことが背景にあると考えられる。 当該事業においても新型コロナウイルス感染症の影響で、移住先である各国からの特別招待者が当初の予定より減であり、特別招待を辞退する国もあった。	同アンケートにおいて、「金武町とのネットワーク・絆を維持するため、今後も制度を継続してほしい」という問に対しては87%という数字が得られた。 移住各国は本町との交流継続を希望していることから、本町も各国とのネットワーク強化を図る。また、移住各国及び日本でも、新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせ、少しずつではあるが社会状況も回復してきていることから、各国での町人会活動も活発になり、参加する者も増えると考えられる。
	今後の取り組み方針	
<p>今大会においては、新型コロナウイルス感染症の影響が少なからずあった。次回は新たな感染症等の影響がない限り、今大会よりも多くの海外参加者が見込まれる。</p> <p>今回実施したアンケートを参考に、次回の大会では海外参加者のより高い満足度を目指し、視察などのプログラムについては多様な面から視察・体験できるよう行程や内容の見直しを検討したい。また、次回大会では、海外参加者のみならず、大会に参加した住民の満足度も図るため、町民向けのアンケート実施も検討する。町民の満足度向上については、町民が海外参加者と交流できる交流ひろば、及び交流ひろば内に設置して各国町人会等の情報を発信するパネル展示の内容充実を図りたい。そのため今後も各国とのネットワークを継続・強化し、各国及び町人会の状況・情報把握に取り組むとともに、情報発信を強化できればと考える。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○当該業務は町の事業に誘引が町内観光振興等に精通している必要があることから地方自治法施行令第167条の2第1項2号に基づき随意契約を行っており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、当初予定の人数より減になったことで不用額も減額していることから妥当であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○特別招待者の往復航空運賃の以外の経費については個人負担であるため、妥当であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業実施に即し必要のものであったと判断した。